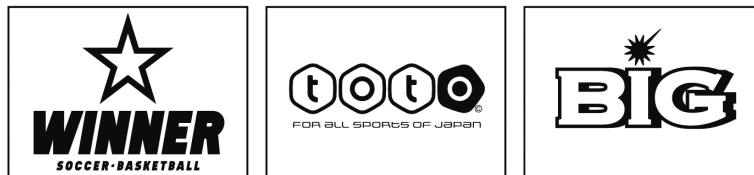


スポーツくじ



オール北海道2023

兼

第42回北海道ジュニアヨット大会

(オープンスキフ級北海道選手権)

SAILING INSTRUCTIONS

1 規則

- 1.1 本レガッタは、2021-2024 セーリング競技規則（以下「規則」という）に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P 及び付則 T を適用する。
- 1.3 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
 - 1.3.1 [SP] は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーは公式掲示板に掲示され、得点記録の略語は STP とする。レース委員会は、標準ペナルティーが不適切だと考えた時、レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。標準ペナルティーを与えられた艇は同じインシデントにより他艇より抗議されることはなく、また他艇はこのレース委員会の措置に対して救済を要求することはできない。これは規則 63.1 及び A5 を変更している。
 - 1.3.2 [NP] は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。
 - 1.3.3 クラスルールまたは [DP] とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーはジュリーの裁量でペナルティーが決定される。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは公式掲示板に掲示される。
- 1.4 スキフディンギーの規則 44.1 及び付則 2.1 は 2 回転ペナルティーが 1 回転ペナルティーに置き換わるよう変更される。
- 1.5 規則 44.2 において、最初の文の後に挿入する：ただし、マーク 1a が設定されている場合、艇はマーク 1a のゾーンから離れるまで、マーク 1 のゾーンまたはマーク 1 とマーク 1a 間のレグでのインシデントに関するペナルティーの履行を延期することができる。

2 帆走指示書の変更

- 2.1 レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 10:00 以前に掲示される。



3 コミュニケーション

- 3.1 公式掲示板は大会オープンチャットに設置される。

オープンチャット「公式掲示板『オール北海道 2023』」

https://line.me/ti/g2/ODLM1crCyjsiSX0Komx49-YTZ62QU8matI2tSg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

※プロフィール名は艇長「該当クラス+セールナンバー+氏名」 ex.ジュニアクラス 2023 福田

※支援者、その他は「所属+氏名」 ex.北海道大学 福田 慎之介

尚、選手以外でフルネームで登録されていない方は削除いたします。

- 3.2 大会陸上本部は、祝津ヨットハウス 2 階に設けられる。
- 3.3 レース委員会は、水上ではデジタル簡易無線機で競技者をモニターし交信を行う。
- 3.4 [DP]レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、全ての艇が利用できない音声やデータを通信してはならない。

4 行動規範

- 4.1 [DP] 競技者および支援者は、レースオフィシャルからの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上に発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、大会本部に掲揚される
- 5.2 回答旗が陸上で形容された場合はレース信号回答旗中の「1分」を「45分」以降と置き換える。
- 5.3 [NP] [SP] 陸上に掲揚された D 旗は「予告信号は D 旗掲揚後 45 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

6 スケジュール

- 6.1 レース日程

日付	レース数	最初の予告信号予定時刻		
		ダブルハンド クラス	シングルハンド クラス	ジュニアクラス
8月6日(日)	各クラス3レース	9:30	9:35	9:40

- 6.2 引き続き行うレースの為の予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。

- 6.3 8月6日(日)は13:00以降に予告信号は発しない

7 クラス旗

- 7.1 クラス旗は、以下の通りとする。

クラス	クラス旗	旗
ダブルハンドクラス	470 旗	白地に 470 級の紀章
シングルハンドクラス	レーザー旗	白地にレーザー級の紀章
ジュニアクラス	オープンスキフ旗	白地にオープンスキフ級の紀章

8 レースエリア

- 8.1 レースエリアは、祝津マリーナ沖にて行う。(添付図 1 参照)

9 コース

- 9.1 「添付図2」の見取り図は、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇はボードにより、最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10 マーク

- 10.1 マーク 1、4 (4s、4p) はピンクの円筒形ブイとする。
- 10.2 マーク 1a は赤色の三角錐ブイとする
- 10.3 SI 12 に規定されている新しいマークはオレンジの三角錐ブイとする

11 スタート

- 11.1 スタートラインは、スターボード側の端のレース委員会信号船の「オレンジ色旗」を掲げたポールと、下記のいずれかの間とする。
- 11.1.1 ポート側の端のオレンジブイ
- 11.1.2 ポート側の端のレース委員会船のオレンジ色旗を掲げたポール
- 11.2 [DP] [NP] 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタートエリアを回避しなければならない。また、回避エリアはスタートラインから 100m とする。
- 11.3 スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は規則 A5.1 及び A5.2 を変更している。

12 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b)フィニッシュラインを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13 フィニッシュ

フィニッシュラインは、レース委員会船の青色旗を掲揚しているポールと、オレンジ色の樽のコース側の間とする。

14 ペナルティー方式

- 14.1 規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。
- 14.2 付則 P2.2、P2.3 は適用されず、付則 P2.1 は変更され 1 回目以降の全ての違反に対して適用される。
- 14.3 付則 T1 に基づく「レース後のペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは付則 A10 を変更している。
- 14.4 RRS44.1、44.2 に基づきペナルティーを履行した艇は「抗議締め切り時刻前」に陸上本部の所定用紙に記入し、提出しなければならない。
- 14.5 ジュニアクラスについては、RRS44.1 および付則 P を変更し、「2 回転ペナルティー」を「1 回転ペナルティー」に置き換える。

15 タイムリミットとターゲットタイム

- 15.1 タイムリミットとターゲットタイムは以下の通りとする。

クラス	マーク 1 タイムリミット	レース タイムリミット	フィニッシュ ウィンドウ	ターゲット タイム
ダブルハンド クラス	15 分	60 分	15 分	40 分
シングルハンドク ラス	15 分	60 分	20 分	40 分

ジュニアクラス	20分	60分	15分	40分
---------	-----	-----	-----	-----

- 15.2 マーク1のタイムリミット内に1艇も最初のマークを通過しなかった場合、レースは中止される。
- 15.3 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインドウ内にフィニッシュしない艇はDNFと記載される。この項は規則35とA4、A5を変更している。
- 15.4 ターゲットタイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

16 審問要求

- 16.1 それぞれのクラスに対して、抗議締め切り時刻は、そのクラスのその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースは行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。時刻は公式掲示板に掲示される。
- 16.2 審問要求の様式は、祝津ヨットハウス2階にあるレースオフィスで入手できる。
- 16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前が挙げられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締め切り時刻30分以内に通告が掲示される。審問は、祝津ヨットハウス2階にあるプロテストルームにて始められる。
- 16.4 付則Pに基づきRRS42違反に対するペナルティーを課された艇のリストは掲示される。

17 得点

- 17.1 シリーズの成立には、1レースを完了することが必要である。
- 17.2 艇の得点は、完了したレースが2レース以下の場合は全レースの合計得点とし、3レース以上完了した場合は最も悪い得点の1レースを除外したレース得点の合計とする。これはRRS付則A2.1を変更している。
- 17.3 シングルハンドクラス、ダブルハンドクラスの順位決定において道東ヤードスティックナンバーを用いフィニッシュタイムの調整を行い、順位を決定する。

18 [DP][NP][SP]安全規定

- 18.1 [SP]出艇申告と帰着申告は祝津ヨットハウス1階の受付にて行い、以下の通りとする。
- (1) 出艇しようとする艇の代表者は、8月6日(日)08:00より「出艇申告」をしなければならない。
 - (2) 帰着した艇の代表者(レース委員会が正当な理由があると認めた場合はその代理人)は、「帰着申告」をしなければならない。その日の最終レース終了後の帰着申告は、当該クラスの抗議締め切り時刻までに完了させなければならない。
 - (3) 帰着申告後に再出艇する場合(「AP/H旗」「N/H旗」またはリタイヤによる帰着後の再出艇)は、随時出艇の申告を受け付ける。出艇申告をせずに再出艇することは認められない。
- (1)～(3)の違反に対するペナルティーは、対象となるレース全てに対して課せられる。
- 18.2 [DP]レースからリタイヤする艇は、最初の妥当な機会にレース委員会に伝えなければならない。艇は、陸上に戻ったら直ちに、祝津ヨットハウスのレースオフィスにてリタイヤ申告をしなければならない。
- 18.3 [NP]シングルハンドクラス、ダブルハンドクラスの艇にとってジュニアクラスの艇は障害物とする。これはRRS2章A節を変更している。

19 [DP]乗員の交代と装備の交換

- 19.1 競技者の交代は、随時行なって良い。
- 19.2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の書面による承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会(ただしレースの後でも可)に、その委員会に行わなければならない。

20 [DP]装備と計測のチェック

- 20.1 艇または装備は、クラス規則、レース公示及び帆走指示書に適合しているか、いつでも検査されることがある。
- 20.2 水上でレース委員会に指示された場合、艇は検査の為に指定されたエリアに向かわなければならない。

21 運営艇

21.1 運営艇は以下のように識別される。

運営艇	標識旗
レース委員会	白地に黒字で RC と記された旗
プロテスト委員会	白地に黒字で JURY と記された旗

22 [DP]支援艇

- 22.1 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から全ての艇がフィニッシュまたはリタイヤするか、またはレース委員会が延期、ゼネラルリコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m 以上外側にいなければならない。
- 22.2 支援艇は出艇申告及び帰着申告をレースオフィスでの緑旗の貸出返却をもって行わなければならない。
- 22.3 支援艇は出艇から帰着するまでの間、常にレー委員会が用意した緑旗を掲揚しなければならない。

23 ゴミの処分

23.1 ゴミは、大会運営、または支援者艇に渡しても良い。

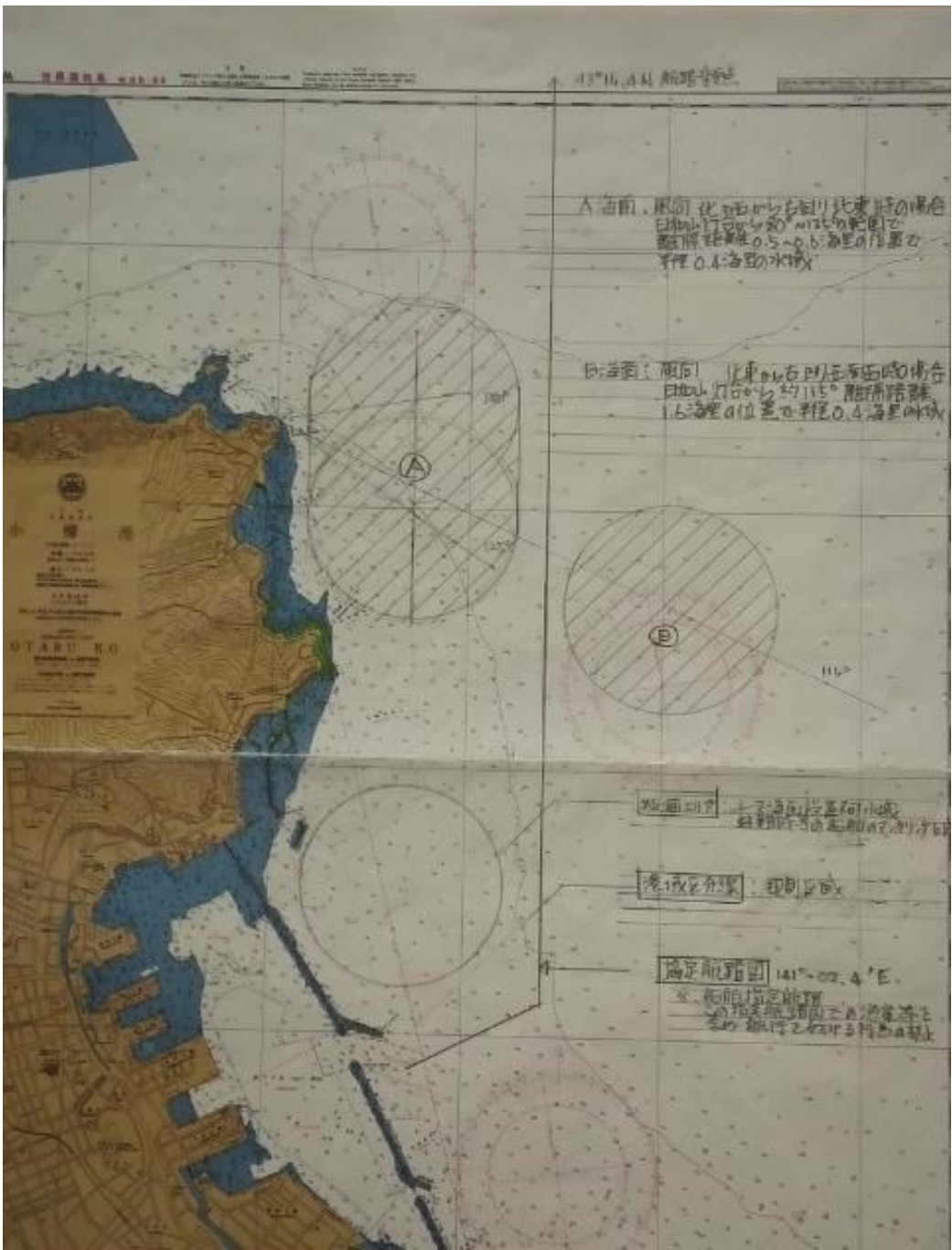
24 リスク・ステートメント

24.1 RRS3 には「レースに参加するか。またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。」とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることにある。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリングスポーツに固有なのは溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

25 保険

25.1 [NP]各参加艇は、有効な第三者賠償責任保険に加入しなければならない。

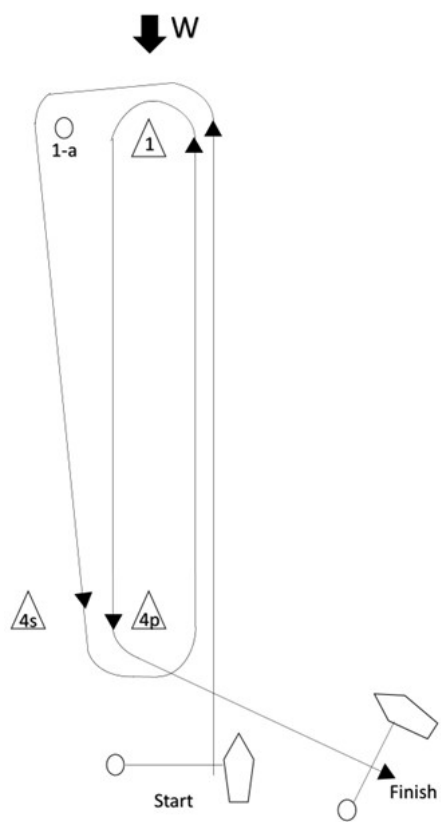
「添付図 1」 レース・エリア



主要座標 緯度1度=緯度60分=60海里
 祝津沖水域 : 緯度43°-13.0N～43°-14.9N
 海面 A : 緯度43°-13.6N～43°-14.8N
 同中心 : 緯度43°-14.0N～43°-14.4N
 海面 B : 緯度43°-13.2N～43°-14.0N
 同中心 : 緯度43°-13.6N
 *協定航路 東経141°-02.4E
 ハーバー入口 : 緯度43°-14.1N

緯度1分=1海里(NM)=1.852KM
 東経141°-01.2E～141°-03.7E
 東経141°-01.2E～141°-02.3E
 東経141°-01.7E
 東経141°-02.5E～141°-03.7E
 東経141°-03.0E
 東経141°-00.9E

「添付図 2」 コース



LR コース : Start-1-1a-4s/4p-1-4p-Finish